

＜資料編＞

海老名環境マネジメントシステム環境評価
令和6年度実施事業
評価結果報告書

環境評価対象事業環境評価調書 (令和6年度実施事業)

施策	事業	ページ
1-1 地球温暖化対策を推進します	市の事務事業における温室効果ガス排出量	54
	個人住宅用太陽光発電導入状況（補助制度累計kw数）	
	エネファーム導入状況（補助制度累計台数）	
	低公害車の導入状況（補助制度累計台数）	
1-2 循環型社会を形成します	リサイクル率	60
	事業系ごみ排出量	
	市庁舎におけるごみ排出量	
	生ごみ処理機の普及率（補助制度実績）	
1-3 緑・水・生きものと共生します	自然緑地保全区域面積・樹木数	66
	緑化に関する情報の発信回数	
	生物多様性に関する情報の発信回数	
2-1 水環境を守ります	水洗化率	71
	公共下水道の普及率	
	水循環に関する情報の発信回数	
2-2 生活環境を守ります	大気質環境基準達成状況	76
	コミュニティバス利用者数	
	騒音に関する相談件数	
3-1 都市環境を整備します	道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	81
	美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	
	えびなクリーン作戦参加者累計数	
3-2 農業地を守ります	農作業受委託面積	86
	市民農園利用者数	
	農業体験イベント参加者数	
3-3 地域資源を守ります	郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	91
	歴史関連イベント・講座参加者数	
4-1 環境を考え、行動します	環境関連情報発信回数	95
	啓発・出前講座参加者数	
	海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	
	海老名市地域緑化事業への登録団体数	

【令和7年度評価】外部評価シート（令和6年度分）

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1 地球温暖化対策を推進します	
目標指標		令和6年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
市域からの温室効果ガス排出量		826千t-CO2(令和4年度実績)	
1,055千t-CO2 (平成28年度)	794千t-CO2 (令和11年度)		
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
市の事務事業における温室効果ガス排出量	3	3	食の創造館別館が新設され、CO2の排出量は微増したが、こどもセンター等、省エネ設備の導入を図り、エネルギー使用量の削減や環境配慮活動への呼びかけを実行できた。
個人住宅用太陽光発電導入状況	3	3	CO2削減に対する意識の向上が見られ、昨年度よりも申請数が増え、目標を上回る結果となった。
エネファーム導入状況	3	3	関係機関への周知啓発を図り、昨年度より申請数が増えたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
低公害車の導入状況	3	3	昨年はなかった、燃料電池自動車の実績があったため、申請件数は昨年度より減少したが、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>温室効果ガス(以下、GHG)排出量をH28年実績に対し、R11年度までに261千t-CO2(25%)削減の目標となっています。その目標に対し、すでに229千t-CO2(23%)削減され、目標達成率88%と、順調に実績を重ね、最新実績が確認されればさらに削減が進んでいることが期待できます。</p> <p>各施策についてもそれぞれおおむね計画通りに進められていることから、評価「3」とします。</p> <p>ただ、それぞれの施策の成果がGHG排出抑制にどれだけ寄与できたかまでが見えるようになると、今後の活動により重心を置けばよいのかの判断につながれると思いますので、各施策の実施によるGHG削減・排出抑制効果が期待できるか、さらに研究を進めてください。</p> <p>また、市の事務事業における施策では、公共施設の新設計画などに対しては、施設稼働による環境負荷増を織り込み、実績と比較することで、施設増による影響評価の精度もさらに向上すると考えられるので、今後の検討課題としてください。</p>			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1 — 1 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
市の事務事業における温室効果ガス排出量			11,077t-CO2(H28/2016)	6,900t-CO2	(R11/2029)
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します			
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込		予算額
海老名市地球温暖化対策実行計画に基づいて、公共施設への省エネ性能の高い設備の導入や運用改善の推進を図るとともに、施設管理者や利用者の省エネ意識啓発に取り組めます。			8,506t-CO2 (2,571t-CO2削減)		— 千円
			達成率： 81.1%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
照明のLED化、省エネ設備の導入、全庁的な節電周知等の施策は実施されたが、その一方、コロナ明けで公共施設の利用率が戻りつつあるとともに、人口増加に対応するために公共施設の増設・増築等もあり、昨年度同様どの程度排出量削減に市の取組みが寄与しているか見極めが困難。					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・地球温暖化の抑制			・省エネ工事による廃棄物の増加		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・温室効果ガス削減に関する相談			・省エネの情報収集及び提供		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。 公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。 本庁舎(一部)のLED化等、可能な範囲での省エネ設備の導入が図られました。 			9,825t-CO2 (1,252t-CO2削減)	
				達成率：70.2%	
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。 公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。 本庁舎のLED化が完了し、省エネ設備の導入が図られました。 			9,687t-CO2 (1,390t-CO2削減)	
				達成率：71.2%	
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 食の創造館別館が新設されたことから、CO2の排出量は微増しましたが、環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。 公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。 新南分署の整備工事やこどもセンターの改修工事により、空調設備の更新による省エネ設備の導入が図られました。 			9,869t-CO2 (1,208t-CO2削減)	
				達成率：69.9%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	海老名市第三次環境基本計画の見直し、海老名市地球温暖化対策実行計画を内包することで、ゼロカーボンに向けた取組について更新した。				
課題等	ゼロカーボンに向けてどのような取り組みが必要なのか調査し、検討していく必要がある。				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	食の創造館別館が新設され、CO2の排出量は微増したが、こどもセンター等、省エネ設備の導入を図り、エネルギー使用量の削減や環境配慮活動への呼びかけを実行できた。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 新南分署の整備工事やこどもセンターの改修工事により、空調設備の更新による省エネ設備の導入等により、CO2排出量の削減に向けた意識向上が図られたことは評価します。 ゼロカーボンの取組についても期待します。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	1	—	b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
個人住宅用太陽光発電導入状況(補助制度累計kw数)				8,649kw(H30/2018)	13,000kw (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します							
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内に太陽光発電施設を設置した方に対し、経費の一部を発電能力に応じて補助。				11,203kw			9,720 千円		
				達成率: 86.2%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和4年に電気自動車の申請数が大きく増えたことを受け、令和5年より低公害車の受付予定台数を設け、他の補助対象設備の予算を削ることがないように対応したが、年度当初に受付予定台数を超える申請があり、太陽光発電(環境配慮設備)の予算額の一部を電気自動車に使用した。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> 市民及び事業者における省エネの推進 市域のエネルギー使用量削減 					<ul style="list-style-type: none"> 再エネ設備導入工事による廃棄物の増加 				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> 補助内容に関する意見・要望 					<ul style="list-style-type: none"> 補助内容の見直し 				
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	太陽光発電施設への補助実績 件数:44件 補助額:5,506,000円 総出力:290.35kw 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進							10,369kw	
								達成率:79.8%	
令和5年度	太陽光発電施設への補助実績 件数:67件 補助額:7,660,000円 総出力:416.88kw 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進							10,786kw	
								達成率:83.0%	
令和6年度	太陽光発電施設への補助実績 件数:80件 補助額:8,875,000円 総出力:470.00kw 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進							11,256kw	
								達成率:86.6%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	市域内のCO2削減に向けて重要な施策であるため、さらなる普及策について検討します。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			CO2削減に対する意識の向上が見られ、昨年度よりも申請数が増え、目標を上回る結果となった。					
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価の内容を支持します。毎年、施設の補助実績は上がっており、令和4年度及び令和5年度に比べ達成率も上昇していて評価できると思います。今後もさらなる普及に努めていただくことを期待します。					

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	1	—	c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
エネファーム導入状況(補助制度累計台数)				210台(H30/2018)	430台 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します							
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内にエネファームを設置した方に対し、経費の一部を補助。				291台			960 千円		
				達成率: 67.7%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
申請件数が伸びすぎため、環境啓発イベントや広報等で情報発信を継続していく。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> 市民及び事業者における省エネの推進 市域のエネルギー使用量削減 					<ul style="list-style-type: none"> 再エネ設備導入工事による廃棄物の増加 				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> 補助内容に関する意見・要望 					<ul style="list-style-type: none"> 補助内容の見直し 				
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	エネファームへの補助実績							265台	
	<ul style="list-style-type: none"> 件数 4件 補助額 240,000円 取組実績 <ul style="list-style-type: none"> 住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 開発事業者への事前の要望 申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進 							達成率: 61.6%	
令和5年度	エネファームへの補助実績							278台	
	<ul style="list-style-type: none"> 件数 13件 補助額 780,000円 取組実績 <ul style="list-style-type: none"> 住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 開発事業者への事前の要望 申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進 							達成率: 64.7%	
令和6年度	エネファームへの補助実績							304	
	<ul style="list-style-type: none"> 件数 26件 補助額 1,560,000円 取組実績 <ul style="list-style-type: none"> 住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 開発事業者への事前の要望 申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進 							達成率: 70.7%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	市域内のCO2削減に向けて重要な施策であるため、さらなる普及策について検討します。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			関係機関への周知啓発を図り、昨年度より申請数が増えたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価の内容を支持します。年々、達成率が上昇し、令和6年度の達成見込を上回っていることは評価できます。今後もさらなる普及に取り組み、CO2削減に向けて達成率の上昇に期待します。					

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	1	—	d
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
低公害車の導入状況(補助制度累計台数)				170台 (H30/2018)	500台 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します							
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内で、新規に対象の低公害車を導入された方に対し、費用の一部を補助。				411台			4,900 千円		
				達成率: 82.2%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
軽の低公害車が製造され購入しやすくなったことや、県、近隣自治体等の補助額と差があること等から、本補助金の見直しを検討する必要がある。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> 市民及び事業者における省エネの推進 市域のエネルギー使用量削減 					<ul style="list-style-type: none"> 低公害車の製造による廃棄物の増加 				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> 補助内容に関する意見・要望 					<ul style="list-style-type: none"> 補助内容の見直し 				
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	低公害車への補助実績							305台	
	<ul style="list-style-type: none"> 件数 79件(電気自動車 79件、燃料電池自動車0件) 補助額 11,850,000円 							達成率: 61%	
令和5年度	低公害車への補助実績							358台	
	<ul style="list-style-type: none"> 件数 53件(電気自動車 53件、燃料電池自動車0件) 補助額 7,950,000円 							達成率: 71.6%	
令和6年度	低公害車への補助実績							389台	
	<ul style="list-style-type: none"> 件数 31件(電気自動車 30件、燃料電池自動車1件) 補助額 4,900,000円 							達成率: 77.8%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	電気自動車のさらなる普及に向け、民間による充電設備の設置促進策について検討します。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			昨年はなかった、燃料電池自動車の実績があったため、申請件数は昨年度より減少したが、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価の内容を支持します。目標値への達成見込に達していないが、令和4年度に比べ達成率が約20%上昇していることは評価します。今後、充電設備の充実によりさらなる普及に期待します。					

【令和7年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和6年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和6年度実績
市域からの温室効果ガス排出量 (794千t-CO2(令和11年度))	826千t-CO2(令和4年度実績)
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量的に)、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価(海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価)における参考資料とします。</p>	
<p>○SDGs啓発事業や環境展を通じて、日常における省エネの取組みを促し、市域内における温室効果ガス削減への意識啓発を行いました。</p> <p>○電気自動車用急速充電器(市庁舎)を運用することで、電気自動車ユーザーの利便性を図りました。</p> <p>○環境保全対策支援事業において、環境基本計画の目標に掲げる設備以外にも、定置用リチウムイオン蓄電池やHEMSの導入補助を行い、市域内の温室効果ガス削減を推進しました。</p> <p>○ウォームビズや省エネ月間の広報記事掲載を通じて、市民への省エネ意識啓発を図りました。</p>	

【令和7年度評価】外部評価シート（令和6年度分）

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		2 循環型社会を形成します	
目標指標		令和6年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)		502g	
650g (平成28年度)	650g (令和9年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
リサイクル率	3	3	レジ袋の有料化や企業等による脱プラの動きがさらに促進されており、プラスチックが家庭から排出される機会が減少傾向にあることが、リサイクル率が上がらない一因になっていると考える。組成分析を実施し、資源物の混入を確認しているため、今後も啓発は継続していく。
事業系ごみ排出量	2	3	高座清掃施設組合へのごみ搬入量手数料の引き上げ及び、引き上げの周知活動により、事業系ごみが減少した。しかし、目標値への達成見込との乖離が大きいため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと考える。
市庁舎におけるごみ排出量	3	3	廃棄物の監視や不適切な廃棄に対する周知を継続して行ったため、ごみ排出量が減少したと考えられる。一方で、不適切な廃棄がなくなっていないため、張り紙を新しく貼る等、注意喚起をしていく必要がある。
生ごみ処理機の普及率(補助制度実績)	3	3	補助件数が令和5年度の233件から276件へと増加し、目標を達成しているため、おおむね計画通りの環境配慮を実施できたと考える。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>昨年に続き、生ごみ処理機設置費補助金活用の申込が多数寄せられており、ごみ排出量の削減に寄与しています。(電動式250件【昨年比118%】、非電動式26件【昨年比137%】)</p> <p>また、令和5年度に導入したLINE予約で若い世代中心に利便性の向上が図られています。</p> <p>以上のことから、内部評価結果を支持し、評価「3」とします。</p>			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	2	—	a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
リサイクル率				31.4% (H28/2016)	40% (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
分別徹底の周知				37.3%			— 千円		
達成率: 93.2%									
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
前年度に限らず、近年の資源物軽量化という全国的な情勢に伴い、リサイクル率が伸び悩み傾向にある。既存のリサイクル量の増加も必要であるが、新規リサイクル方策がないか研究を進めていきたい。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化 ごみ処理施設の負担軽減 					<ul style="list-style-type: none"> 資源物の運搬・処理にかかるエネルギーの使用 				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> 分別に関する問い合わせ 					<ul style="list-style-type: none"> 分別に関する情報提供 				
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。							31.90%	
								達成率: 80%	
令和5年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。事業者との協定締結を行い、水平リサイクル推進に関するPR動画を作成し、Youtubeで公開をした。							31.30%	
								達成率: 78%	
令和6年度	分別ガイドをより分かりやすくするために刷新し、市民による適正な分別排出を促した。また、広報えびなどで、分別や減量化に関する内容の連載記事を掲載した。							31.90%	
								達成率: 80%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	分別ガイドの刷新、広報への連載								
課題等	前年度に限らず、近年の資源物軽量化という全国的な情勢に伴い、リサイクル率が伸び悩み傾向にある。既存のリサイクル量の増加も必要であるが、新規リサイクル方策がないか研究を進めていきたい。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	レジ袋の有料化や企業等による脱プラの動きがさらに促進されており、プラスチックが家庭から排出される機会が減少傾向にあることが、リサイクル率が上がらない一因になっていると考える。組成分析を実施し、資源物の混入を確認しているため、今後も啓発は継続していく。							
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。目標値には達しませんでした。広報えびなどで分別や減量化に関する連載記事を掲載したことで、市民が身近なところからリサイクルに取り組めるよう意識啓発を図り、前年の達成率を上回ったところは、評価できると思います。担当部課の課題にもあげられているように、新たなリサイクル方策の研究を進め、市の環境政策を推進されることを期待します。							

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	2	—	b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
事業系ごみ排出量				8,336t (H28/2016)	5,145 (R9/2027)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
多量排出事業者への訪問指導、一般廃棄物収集運搬業許可業者向けの講習会の開催、食品ロス削減方策の検討、生ごみ処理機補助の事業所普及促進啓発活動				6,591t			— 千円		
				達成率: 78.1 %					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
事業所によって排出されるごみの種類が異なるため、統一した減量化策は難しいと考える。焼却施設搬入手数料の改定を三市、高座清掃施設組合で行ったため、減量効果を見ながら減量化施策を検討していく必要がある。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化 ごみ処理施設の負担軽減 				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
<ul style="list-style-type: none"> 事業系ごみに関する問い合わせ 				<ul style="list-style-type: none"> 処理に関する情報提供 					
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
年度	多量排出事業者への訪問指導実施(20社) 事業者向けのパンフレットの改訂(8月)							8,331t	
								達成率: 61.7%	
年度	多量排出事業者への訪問指導実施(23社) 事業者向けのパンフレットの改訂(10月) 事業所訪問時の確認内容について、見直しを行った。 座間市、綾瀬市、高座清掃施設組合と協議を行い、焼却施設への事業系ごみ搬入手数料の見直しを行った。(令和6年4月から段階的に引上げ)							8,352t	
								達成率: 61.6%	
年度	多量排出事業者への訪問指導実施(10社) ごみ減量化及び適正処理について優良な取組をしている事業所の認定を行った。 焼却施設への事業系ごみ搬入手数料が改定され、事業系ごみ量が減量した。							7,547t	
								達成率: 68.2%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	事業系ごみ搬入手数料の改定、優良取組事例の認定								
課題等	事業所によって排出されるごみの種類が異なるため、統一した減量化策は難しいと考える。焼却施設搬入手数料の改定を行い、減量化しているため、訪問指導等によりリバウンドしないようにする必要がある。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	高座清掃施設組合へのごみ搬入量手数料の引き上げ及び、引き上げの周知活動により、事業系ごみが減少した。しかし、目標値への達成見込との乖離が大きいため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと考える。							
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価から引き上げます。 令和5年度と比較しての排出量減少は、高座清掃施設組合へのごみ搬入量手数料の引き上げ及び、引き上げの周知活動の効果が出ていると判断します。ただし、目標値の乖離が大きいため、都市開発に伴う経済活動の活発化が要因の排出量増を考慮するか検討する必要があると考えます。							

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	2	—	c
担当部	財務部	担当課	財産・車両課	担当係	管財係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
市庁舎におけるごみ排出量				1512.710kg(H30/2018)	1361.439kg (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
<ul style="list-style-type: none"> 市庁舎ごみゼロ研修の開催(新採用職員向け)年1回 張り紙等による分別に対する意識改革 				1833.01kg			0 千円		
				達成率: 74.3%(昨年度実績値5%減)					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
家庭ごみの廃棄が多いことが発見されたため、張り紙等により廃棄物の排出抑制が必要である。不適切なゴミ出しが見られるため、前年に続き、委託業者と連携し、監視する必要がある。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化 ごみ処理施設の負担軽減 				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
<ul style="list-style-type: none"> 集積場所の環境状況への苦情 				<ul style="list-style-type: none"> 定期的な収集及び美化清掃 					
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	以下の取組を通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> 市庁舎ごみゼロ研修の開催(新採用職員向け)を年1回実施(新採用研修科目として) 庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました(資源化率97.7%) しかしながら、7月・8月・10月焼却ごみの排出量が大きく増加し、早急な実態把握の必要がある。							1585.39kg	
								達成率: 85.9%	
令和5年度	以下の取組を通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> 市庁舎ごみゼロ研修の開催(新採用職員向け)を年1回実施(新採用研修科目として) 不適切なゴミ出し及び家庭ごみ発見時の確認・指導 庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました(資源化率97.7%) 本年度は、委託業者と連携し、庁内で出るごみの監視を行いました。4月・5月・6月の焼却ごみ排出量が著しく増加してしまつた。庁舎の備品廃棄に伴い、排出量が増加したことが考えられる。また、1年を通し、市民による廃棄物の増加が見られた。							1929.48kg	
								達成率: 70.6%	
令和6年度	以下の取組を通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> 市庁舎ごみゼロ研修の開催(新採用職員向け)を年1回実施(新採用研修科目として) 不適切なゴミ出し及び家庭ごみ発見時の確認・指導 庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました(資源化率97.9%) ごみ排出量の増加に伴い、委託業者と連携し、庁内で出るごみの監視を行いました。また、不適切な廃棄(分別不足や家庭ごみの排出)があった場合は、庁内周知を行い、ごみ排出量の削減に務めました。							1619.60kg	
								達成率: 84.1%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	不適切な廃棄を発見した場合に、庁内周知を行った。								
課題等	不適切な廃棄がなくなっていないため、庁内周知等継続して指導が必要である。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	廃棄物の監視や不適切な廃棄に対する周知を継続して行ったため、ごみ排出量が減少したと考えられる。一方で、不適切な廃棄がなくなっていないため、張り紙を新しく貼る等、注意喚起をしていく必要がある。							
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。周知の徹底により、ごみ排出量が減少したことを評価します。不適切な廃棄抑制は今後も継続していく必要がありますが、職員定数の増なども鑑み、目標値の適正化にも努めていただきたいと思います。							

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	2	—	d
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
生ごみ処理機設置費補助制度の普及率(補助制度実績)				8.9% (H28/2016)		10% (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
生ごみ処理機設置費補助制度				10%			9,673 千円		
				達成率: 100%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化 ごみ処理施設の負担軽減 					<ul style="list-style-type: none"> 近隣への悪臭の発生 				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> 処理機の使用に伴う苦情 					<ul style="list-style-type: none"> 適切な使用方法の伝達 				
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	広報や自治会回覧のほか、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示を行った。新型コロナウイルス感染拡大でブース出展等ができてなかったコミセン祭りに参加啓発を行った。非電動式生ごみ処理機の補助上限を引き上げた。						9.16% (処理機累計基数/R4.4.1世帯数)		
							達成率: 91.6%		
令和5年度	広報や自治会回覧のほか、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示を行った。補助金のLINE事前予約を開始						11.1% (処理機累計基数/R5.4.1世帯数)		
							達成率: 111%		
令和6年度	広報えびな7月1日号にて、生ごみ処理機特集記事を掲載。補助金のLINE事前予約を継続し、195件LINEから補助金予約があった。						11.3% (処理機累計基数/R6.4.1世帯数)		
							達成率: 113%		
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	非電動式生ごみ処理機の普及促進								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			補助件数が令和5年度の233件から276件へと増加し、目標を達成しているため、おおむね計画通りの環境配慮を実施できたと考える。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			目標を達成したという担当部課評価を支持しますが、評価指標に累計値を使用するのであれば、目標値は前年度実績を上回るように設定すべきだと思います。また、令和5年度の実績値の伸び(+1.94%)を勘案すると令和5年度は1,300件以上の補助実績があったように見えるので、誰が見ても分かりやすい評価方法を検討してください。					

【令和7年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和6年度分）

目標指標 （目標値（年度））	令和6年度実績
一人1日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源） （650g（令和9年度））	502g
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○生ごみ処理機設置費補助金活用の申込が多数寄せられている。（電動式250件、非電動式26件）</p> <p>○より多くの方に補助金を周知できるよう、自由通路デジタルサイネージでの啓発を行った。</p> <p>○令和5年度に導入したLINE予約を継続し、利便性の向上を図った。</p> <p>○分別ガイドについて、より分別がわかりやすくなるよう刷新を行った。</p>	

【令和7年度評価】外部評価シート（令和6年度分）

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		3 緑・水・生きものと共生します	
目標指標		令和6年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合）		アンケート実施なし	
48.2% (平成30年度)	50.0% (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
自然緑地保全区域面積・樹木数	2	2	自然緑地保全区域・自然緑地保存樹木の所有者の高齢化や、樹木の老朽化に伴い、維持管理が困難となっており、相続や売却などによる指定解除が増加している。また、ほとんどの緑地や樹木がすでに指定されているため、新規の指定が困難であり、総件数は減少した。
緑化に関する情報の発信回数	3	3	例年同様に「緑化ポスターコンクール」および「さつき展」を行うことができ、その情報を広く発信することで、緑の保全・育成への意識の向上を図ることができた。
生物多様性に関する情報の発信回数	3	3	えびな生き物大調査について、エントランスホールへの展示や調査報告書を通じて、海老名市の生物多様性を広く啓発できたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
自然緑地保全区域面積・樹木数の新規指定が困難の中、新規公園の植樹計画や既存公園の補植などで、わずかながら緑の保全に努めるなど目標未達であってもできる努力を重ねているなどから、評価「3」とします。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	3	—	a
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公園課	担当係	総務係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
自然緑地保全区域面積・樹木数				150626.16㎡/193本 (R1/2019)	150000.00㎡/193本 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します							
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識(環境アンケート:地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
多様な機能を有する緑の保全のため、自然緑地保全区域・自然緑地保存樹木を指定し、奨励金の交付を実施				142,000㎡/178本			6,392 千円		
				達成率: 94.7 %					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
樹木の所有者や樹木自体が高齢化していることから、維持管理が困難になり、枯死・滅失が増加している。また、ほとんどの緑地や樹木が指定されているため、新規の指定が困難である。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> 森林資源の保護 温室効果ガス吸収作用の保全創造 					<ul style="list-style-type: none"> 近隣の日照時間の減少 落葉等のゴミの増加 				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> 樹木からの落葉による苦情 樹木を剪定伐採したことによる景観上の苦情 					<ul style="list-style-type: none"> 生活環境と景観に配慮した管理方法の周知 				
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績							140,529.36/150,000	
	<ul style="list-style-type: none"> 自然緑地保全区域 91件 5,286,340円 自然緑地保存樹木 170件 674,000円 保存生垣 25件 173,600円 							172/193本	
								達成率: 93 %	
令和5年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績							136,329.36/150,000	
	<ul style="list-style-type: none"> 自然緑地保全区域 89件 5,253,730円 自然緑地保存樹木 165件 654,000円 保存生垣 15件 87,000円 							165/193本	
								達成率: 90 %	
令和6年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績							134,584.36/150,000	
	<ul style="list-style-type: none"> 自然緑地保全区域 87件 4,883,685円 自然緑地保存樹木 159件 634,000円 (保存生垣は令和5年度末で廃止) 							159/193本	
								達成率: 89 %	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	自然緑地保全区域・自然緑地保存樹木の所有者の高齢化や、樹木の老朽化に伴い、維持管理が困難となっており、相続や売却などによる指定解除の相談が増加している。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	自然緑地保全区域・自然緑地保存樹木の所有者の高齢化や、樹木の老朽化に伴い、維持管理が困難となっており、相続や売却などによる指定解除が増加している。また、ほとんどの緑地や樹木がすでに指定されているため、新規の指定が困難であり、総件数は減少した。							
内部環境評価	2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価の内容を支持します。現在の状況を考えると目標達成率の低下はやむを得ないと思います。昨年度も提案していましたが、目標値の設定や代替案についての検討が必要と思われます。							

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	3	—	b
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公園課	担当係	総務係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
緑化に関する情報の発信回数				2回 (R1/2019)	3回 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します							
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識 (環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込	予算額				
緑化ポスターコンクールやさつき展等の事業に関する情報を広報等に掲載				3	0 千円				
				達成率： 100%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・ 緑を保全・育成する意識の向上				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・ 緑化手法に関する問い合わせ				<ul style="list-style-type: none"> 適切な緑化手法の周知 緑化に係る補助制度の情報提供 					
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、表彰式を海老名中央公園にて行った。また、「さつき展」は3年ぶりに5月30日、31日に開催することができた。							3	
								達成率： 100 %	
令和5年度	小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、表彰式を海老名中央公園にて行った。また、「さつき展」についても5月22日～25日まで市役所1階にて開催された。							3	
								達成率： 100 %	
令和6年度	小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、表彰式を海老名中央公園にて行った。また、「さつき展」についても5月21日～22日まで市役所1階にて開催された。							3	
								達成率： 100 %	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	特になし								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	例年同様に「緑化ポスターコンクール」および「さつき展」を行うことができ、その情報を広く発信することで、緑の保全・育成への意識の向上を図ることができた。							
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。ポスターコンクールをとおして児童に緑化に関心を持ってもらうことは、地球(環境)にやさしい社会の実現にとって効果があると判断します。また、さつき展の開催も市役所を訪れた方に対して緑化を考える契機となると判断します。							

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	1	—	3	—	c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
生物多様性に関する情報の発信回数				3回 (R1/2019)	6回 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します							
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識(環境アンケート:地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
・ホームページによる情報の発信 ・窓口でのチラシの配架				4			— 千円		
				達成率: 66.6%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
小学生を中心とした「いきもの大調査」を実施し、多くの参加者が生物多様性の重要性を学ぶ良い機会になった。参加人数の減少が見られたため、さらなる周知に努めていきます。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
・生物多様性を保全する意識の向上					—				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
・生物多様性の保全手法に関する問い合わせ					・適切な生物多様性の保全手法の周知				
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
年度	・特定外来生物(ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク)に関する周知をホームページで実施しました。 ・「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に145名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。							4回	
令和4年度								達成率: 66.6%	
年度	・特定外来生物(ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク)に関する周知をホームページで実施しました。 ・「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に94名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開しました。							4回	
令和5年度								達成率: 66.6%	
年度	・特定外来生物(ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク・ナガエツルノゲイトウ)に関する周知をホームページで実施しました。 ・「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に108名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開しました。							4回	
令和6年度								達成率: 66.6%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	生物多様性への理解を深められるイベントの開催について研究を進めます。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	えびな生き物大調査について、エントランスホールへの展示や調査報告書を通じて、海老名市の生物多様性を広く啓発できたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。							
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。えびな生き物大調査等による生物の多様性についての啓発や、特定外来生物に対する注意喚起などは、とても大切なことであり、何年も継続して事業の実施や情報発信をされていることを評価します。また、今後も、引き続き行われ、より広範囲に周知されることを期待します。							

【令和7年度評価】目標指標関連事業取り組み状況シート（令和6年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和6年度実績
生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合） 50.0%（令和11年度）	アンケート実施なし
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取り組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に94名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。</p> <p>○市民が市内生物たちと楽しく安全に触れ合えるよう（主に河川）、水質の汚濁に日頃から気を配り、触れ合いやすい環境づくりに取り組みました。</p>	

【令和7年度評価】外部評価シート（令和6年度分）

基本方針		施策の方針	
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		1 水環境を守ります	
目標指標		令和6年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
河川水質環境基準達成状況		問題なし	
問題なし (平成30年度)	問題なし (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
水洗化率	3	3	前年度を上回る助成金の申請・交付があった。
公共下水道の普及率	3	3	市街化区域へ編入された市役所周辺地域などを中心に管渠布設工事を実施した。
水循環に関する情報の発信回数	3	3	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌での情報発信を実施できたため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>河川水質の環境基準の維持はでき、各施策に対する実績も概ね計画通り実施できていることから、評価「3」とします。</p> <p>ただ、公共下水道の普及率は大切ですが、これらインフラ施設は、他県・他市で発生した災害や事故を例とするまでもなく強靱性の確保は重要です。限られた予算の中での事業ですが、普及と維持のバランスをとりながら、より「健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保」するために柔軟な運用をお願いします。</p> <p>また「水循環に関する情報の発信回数」については、発信回数を目標としていますが、紙面に限りはありますが、発信実績に加え、どのような取り組みで水質環境基準を維持できているかなど、活動を裏付ける取組まで紹介し発信できると良いと思います。</p>			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	2 — 1 — a		
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	業務係		
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)		
水洗化率				98.2% (H30/2018)	100% (R11/2029)		
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します					
	施策の方針	2-1 水環境を守ります					
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況					
令和6年度事務事業 環境管理計画							
主な取組の概要				目標値への達成見込		予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 適切な水洗化手法の通知 水洗化に係る補助制度の情報提供 未水洗化家屋への通知 				98.4% (0.2%増)		2,316 千円	
				達成率：98.4%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等							
水洗化率は横ばいである。 未水洗化家屋について、水洗化を行わない理由についてのアンケート調査実施を検討する必要がある。							
令和6年度事務事業に係る環境影響							
有益影響				有害影響			
<ul style="list-style-type: none"> 水質保全 生活環境の改善 				<ul style="list-style-type: none"> 水洗化工事による廃棄物の増加 			
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応			
<ul style="list-style-type: none"> 水洗化手続きに関する問い合わせ 				<ul style="list-style-type: none"> 適切な水洗化手法の周知 水洗化に係る補助制度の情報提供 			
令和6年度事務事業 実施結果							
主な取組結果の概要						目標値達成実績	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○水洗便所改造等助成金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・件数 20件 ・助成金 600,000円 (一人あたり30,000円) ○取組実績 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの配布 ・ホームページへ掲載 ・助成案内を対象者へ通知 					98.4	
							達成率：98.4%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ○水洗便所改造等助成金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・件数 14件 ・助成金 420,000円 (一人あたり30,000円) ○取組実績 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの配布 ・ホームページへ掲載 ・助成案内を対象者へ通知 					98.4	
							達成率：98.4%
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ○水洗便所改造等助成金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・件数 17件 ・助成金 510,000円 (一人あたり30,000円) ○取組実績 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの配布 ・ホームページへ掲載 ・助成案内を対象者へ通知 					98.6	
							達成率：98.6%
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等							
変更点	特になし						
課題等	水洗化率は98%を超えており、横ばい状態となっている。 未水洗化世帯の多くは、下水道の必要性は理解されていても、家屋の老朽化、工事費用の工面、高齢者世帯など、さまざまな事情を抱えており、法的な接続義務はあるものの、市は事情を汲み取らざるを得ない状況にある。						
令和6年度事務事業 環境評価							
評価区分	評価	判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	前年度を上回る助成金の申請・交付があった。					
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 水洗化率が高い状況にある中で、前年を超える件数の助成を行うことや高い達成率を維持していることを評価します。					

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	2	—	1	—	b
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	管路施設係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
公共下水道の普及率				95.9% (H30/2018)		100% (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します							
	施策の方針	2-1 水環境を守ります							
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
<ul style="list-style-type: none"> 未普及地域への污水管渠整備工事 整備工事予定箇所周辺への事前説明会の実施 				96.4% (0.5%増)			406,857 千円		
				達成率: 96.4%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
市街化編入された未普及地域については整備工事を進めているが、そうでない未普及地域については人口密度とコストを勘案しながら進めている。普及だけでなく、既設管渠の維持管理(耐震化含む)への対応も必要であり、普及率100%を目指すにあたって、具体的な整備計画を立てることが困難な状況である。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> 水質保全 生活環境の改善 					<ul style="list-style-type: none"> 下水道工事による廃棄物の増加 				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> 下水道工事に関する苦情 					<ul style="list-style-type: none"> 迅速な工事の実施 工事内容の丁寧な説明 				
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組実績 市街化調整区域の公共下水道污水管渠の埋設工事 公共下水道汚水樹設置の申し出に基づく、設置工事 公共下水道污水管渠整備を実施するための詳細設計委託 							96.4%	
								達成率: 96.4%	
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組実績 市街化調整区域及び市役所周辺地区への公共下水道污水管渠の埋設工事 公共下水道汚水樹設置の申し出に基づく、設置工事 公共下水道污水管渠整備を実施するための詳細設計委託 							96.5%	
								達成率: 96.5%	
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組実績 市街化調整区域及び市役所周辺地区への公共下水道污水管渠の埋設工事 公共下水道汚水樹設置の申し出に基づく、設置工事 公共下水道污水管渠整備を実施するための詳細設計委託 							96.6%	
								達成率: 96.6%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	令和6年1月の能登半島地震、令和7年1月の八潮市の道路陥没を受け、今後は国全体として整備より維持管理を優先することが想定される。本市も下水道未普及地区への整備の方向性について、令和7年・8年度に検討を行う予定である。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	市街化区域へ編入された市役所周辺地域などを中心に管渠布設工事を実施した。							
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価を支持します。新たな公共下水道污水管渠の埋設工事にも必要なことではありますが、今後は老朽化した管渠の維持管理も大事なことになってくると思いますので検討をお願いします。							

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	2	—	1	—	c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
水循環に関する情報の発信回数				1回 (R1/2019)	3回 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します							
	施策の方針	2-1 水環境を守ります							
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況							
令和6年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
河川の水質調査結果について、広報えびな等にて情報発信				2回			1,599 千円		
				達成率：66.6%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
市内の水環境のさらなる周知を図るため、広報えびな等における水質調査結果の発信にあたり、市民により分かりやすい記載方法の検討に努めていきます。									
令和6年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
・水環境の保全意識の向上					—				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
・水環境の保全手法に関する問い合わせ					・適切な水環境の保全手法の周知				
令和6年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 環境調査結果として「広報えびな」に河川の水質調査結果を掲載することで、市民に対して市内の水質状況の周知を図りました。 「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に、市内の河川水質状況を掲載し周知を図りました。 							2回	
								達成率：50%	
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 環境調査結果として「広報えびな」に河川の水質調査結果を掲載することで、市民に対して市内の水質状況の周知を図りました。 「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に、市内の河川水質状況を掲載し周知を図りました。 							2回	
								達成率：50%	
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 環境調査結果として「広報えびな」に河川の水質調査結果を掲載することで、市民に対して市内の水質状況の周知を図りました。 「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に、市内の河川水質状況を掲載し周知を図りました。 							2回	
								達成率：50%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌以外での周知方法の検討。								
令和6年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌での情報発信を実施できたため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。							
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部下評価の内容を支持します。市民の生活に大きな影響のある水質の状況を継続して調査し、公表することは大変重要です。広報や会報での周知は非常に有用ですので取り組みを継続していただくとともに新たな周知のツールの検討も期待します。							

【令和7年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和6年度分）

目標指標 （目標値（年度））	令和6年度実績
河川水質環境基準達成状況 （問題なし（令和11年度））	問題なし
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○河川の水質は、河川事故によって汚濁されてしまうため、河川事故があった際は迅速かつ正確に対応をしている。特に油が河川に流入し油膜が流れている時は、オイルフェンスを設置することで下流への影響を抑え、塞き止めた油はオイルマットを用いて吸着作業をしている。</p> <p>○現場へ行き河川の近くを通る際は、河川の臭気や水が濁っていないかを確認し、異常時にも対応できるよう日々心掛けて業務に専念している。また、現場確認した状況はリストで管理し、チェックできるようにしている。</p>	

【令和7年度評価】外部評価シート（令和6年度分）

基本方針		施策の方針	
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		2 生活環境を守ります	
目標指標		令和6年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
公害・環境に関する相談件数		53件	
64件 (平成30年度)	50件 (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
大気環境基準達成状況	3	3	市内21箇所で窒素酸化物簡易測定調査を行いました。また、大気汚染（屋外焼却行為）等に対する苦情相談を受け、迅速な対応及び状況に応じた指導を行ったため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。
コミュニティバス利用者数	3	3	デジタルサイネージの活用や車内に利用促進ポスターを掲出するなどし、コミバスを含めた市公共交通全体の利用促進を図ることができた。輸送人員については、順調に増加しており、目標値を達成することができた。
騒音に関する相談件数	3	3	騒音苦情を受け迅速に現場対応を行いました。苦情者の不安要素解消のため、聞き取り等をしっかり行い、解決できたケースが多いため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと評価します。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
目標指数が、「公害・環境に関する相談件数」となっており、騒音や、野焼きによる悪臭を中心に対応できていることから、内部評価結果を支持し、評価「3」とします。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	2 — 2 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
大気環境基準達成状況			達成 (H30/2018)	達成 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
市内21箇所で開催している窒素酸化物簡易測定調査			基準値達成	1,191 千円	
			達成率： — %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
屋外焼却行為（野焼き）に係る苦情・相談が多く寄せられました。気象条件や風向き等、発生時のデータを記録し、今後の対策に役立てていきます。					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・空気汚染に関する公害苦情			<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な現場対応 ・環境基準等の丁寧な説明 		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。 ・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数33件）。 ・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数1件）。 			基準値達成	
				達成率： — %	
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。 ・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数28件）。 ・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数1件）。 			基準値達成	
				達成率： — %	
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。 ・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数14件）。 ・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数2件）。 			基準値達成	
				達成率： — %	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	県の条例で例外的に認められている屋外焼却行為に対しても苦情が一定数あり、苦情者に理解を得ることが難しい。				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	市内21箇所で開催した窒素酸化物簡易測定調査を行いました。また、大気汚染（屋外燃焼行為）等に対する苦情相談を受け、迅速な対応及び状況に応じた指導を行ったため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。課題については屋外燃焼行為をするものに対して丁寧な説明し理解を得られるよう指導を引き続きお願いします。市内21箇所で開催している窒素酸化物簡易測定調査の結果、環境汚染に係る原因を発生させているものに対して適切な指導をお願いします。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	2 — 2 — b
担当部	まちづくり部	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
コミュニティバス利用者数			257,237人 (H30/2018)	259,150人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
市内3ルートコミュニティバスの運行を継続する。また、市ホームページやバス車内において利用状況等の周知を行う。			268,693人	70,964 千円	
			達成率：103.7%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
主に高齢者の移送手段について、自動車から公共交通機関等へのスムーズな移行をどのように促すかが課題と考えられます。					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・自動車からの利用転換による排気ガスの抑制			・排気ガスの排出 ・ガソリンの使用		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・コミュニティバスの運行状況に関する問い合わせ ・苦情			・適切な運行状況の説明		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○ 市HP等情報発信回数：12回			247,905	
				達成率：95.7%	
令和5年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○ 市HP等情報発信回数：12回			270,499	
				達成率：104.4%	
令和6年度	温室効果ガスの削減を目標に、デジタルサイネージ等を活用したコミュニティバス利用促進に繋がる情報発信等に努めました。			284,014	
				達成率：109.6%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	2024年問題（運転手不足）により、ルート変更、ダイヤ改正（増便）等の実施が困難である。				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	デジタルサイネージの活用や車内に利用促進ポスターを掲出するなどし、コミバスを含めた市公共交通全体の利用促進を図ることができた。輸送人員については、順調に増加しており、目標値を達成することができた。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価を支持します。 今年度は特に変更点はないとのことですが、デジタルサイネージ等を活用した利用促進につながる情報発信に努めた結果、2年連続で目標値を達成しています。今後も、より市民のニーズに合った事業運営を行い、更に利用者の増加となるような利用促進策の展開を期待します。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	2 — 2 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
騒音に関する相談件数			22件 (H30/2018)	22件	(R11/2029)
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への達成見込		予算額	
事業所から発せられる騒音苦情相談に伴う相談者への聞き取り及び事業所への指導		16件		— 千円	
		達成率： — %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
建設・解体工事に伴う騒音苦情が増加傾向にある。事業者に対し、騒音規制法に基づく届出の提出や、周辺住民への配慮を引き続き求めていきます。					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響		有害影響			
・生活環境の保全		—			
想定されるコミュニケーション		コミュニケーションへの対応			
・騒音に関する公害苦情		<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な現場対応 ・騒音基準等の丁寧な説明 			
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	騒音規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準に基づき現場対応を行い、状況に応じて適切な指導等を実施しました。また、建設・解体工事における苦情においては、騒音規制法に該当する機械を使用している場合には適切に届出が提出されているかの確認を徹底しました。			16件	達成率： — %
令和5年度	騒音規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準に基づき現場対応を行い、状況に応じて適切な指導等を実施しました。また、建設・解体工事における苦情においては、騒音規制法に該当する機械を使用している場合には適切に届出が提出されているかの確認を徹底しました。			24件	達成率： — %
令和6年度	騒音規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準に基づき現場対応を行い、状況に応じて適切な指導等を実施しました。また、建設・解体工事における苦情においては、騒音規制法に該当する機械を使用している場合には適切に届出が提出されているかの確認を徹底しました。			29件	達成率： — %
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	規制基準以下の音であっても、騒音と感じる音の大きさは人によって異なるため苦情に繋がることが多く、課として対応に苦慮する場合があります。				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	騒音苦情を受け迅速に現場対応を行いました。苦情者の不安要素解消のため、聞き取り等をしっかり行い、解決できたケースが多いため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと評価します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。関係法令等に基づく現場対応や苦情者への聞き取りをしっかりと行い、多くが解決に繋がったことを評価します。騒音は、感覚の相違や個別の事情により基準以下の音であっても苦情に繋がるとはありますが、引き続き迅速かつ丁寧な対応に努めてください。			

【令和7年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和6年度分）

目標指標 （目標値（年度））	令和6年度実績
公害・環境に関する相談件数 （50件（令和11年度））	53件
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○屋外焼却行為（野焼き）の苦情件数が多く、条例で例外として認められている農家による屋外焼却行為も多く含まれる。近年、海老名市の人口が少しずつ増加していく中、農家による野焼きになじみのない人も多く転入してくる。相談があるたび、現場確認を行い、農家に注意喚起を行うとともに、相談者に農家による野焼きは例外的に認められている旨を説明している。また、農協を通じて農家に対し屋外焼却行為の注意喚起回覧を行うことで、屋外焼却行為の苦情件数の減少を図る。</p> <p>○過去に苦情を受けた現場付近を通るときは、時間があれば気にかけて見るようにしている。そうすることで、苦情再発の可能性の有無を確認できたり、再度苦情申立てがあっても苦情者との話しの相違を減らすことができる。</p>	

【令和7年度評価】外部評価シート（令和6年度分）

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		1 都市環境を整備します	
目標指標		令和6年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合）		アンケート実施なし	
90.3% (令和元年度)	90.3% (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	3	3	当初予定していた道路整備工事が概ね予定どおりに工事を進められたことや、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことから、概ね計画どおりの環境配慮を実施できたと判断します。
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	3	3	指導件数について、海老名駅の喫煙所を重点的に巡回したため、指導件数が増えている。計画通り巡回を行い、美化清掃も行っているため、計画通りの環境配慮を実施できたものとする。
えびなクリーン作戦参加者累計数	2	2	市が主催した一斉美化活動は、開催していなため一部計画通りの環境配慮を実施できなかったものとする。しかし、海老名市きれいなまちづくり事業や美化デー等の地域美化活動が定着してきている。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
地域美化活動が美化デーなどで根付いていることや、目標値としてもおおむね達成していることから、「評価3」とします。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	3 — 1 — a
担当部	まちづくり部	担当課	道路整備課	担当係	幹線道路係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)			34.3% (R1/2019)	35.1% (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します			
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート:ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
道路環境の整備によって、渋滞の解消と、近隣住民の住環境の向上を図る。			市政アンケート実施なし	435,408 千円	
			達成率:%(市政アンケート実施なし)		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
特になし					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞解消による排気ガスの抑制 ・路面舗装による粉塵、砂埃の抑制 			<ul style="list-style-type: none"> ・道路工事による廃棄物の増加 		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・道路工事に関する苦情 			<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な工事の実施 ・工事内容の丁寧な説明 		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	幹線・準幹線道路及び生活道路整備を行い、また、市道62号線延伸道路、並木橋歩車道分離整備により、交通の利便性を向上させ、自動車等の排出ガスの減少並びに近隣住民の住環境の向上を図った。 工事で使用する建設機械については、機械施工が大気環境に与える負担の軽減を図るため、工事受注者に低騒音、低振動及び排出ガス対策型建設機械を可能な限り使用させた。 ・工事件数 15件 ・工事完成延長 1256m			市政アンケート 実施無し 達成率:市政アンケート実施無し	
令和5年度	幹線・準幹線道路及び生活道路の整備を行い、また、市道1753号線道路改良、並木橋歩道橋取付道路(市道3号線)改良により、駅周辺の交通の利便性を向上させ、渋滞の解消による自動車等の排出ガスの減少並びに近隣住民の住環境の向上を図った。 また、工事施工については、機械施工が大気環境に与える負担の低減を図るため、工事受注者に低騒音、低振動及び排出ガス対策型建設機械を可能な限り使用させた。 ・工事件数 21件 ・工事完成延長 1542m			41.1% 達成率:117.1%	
令和6年度	幹線・準幹線道路及び生活道路の整備を行い、また、上郷河原口線の供用開始、市道59号線の改良により、駅周辺の交通の利便性を向上させ、渋滞の解消による自動車等の排出ガスの減少並びに近隣住民の住環境の向上を図った。 工事施工時については、機械施工が大気環境に与える負担の低減を図るため、工事受注者に低騒音、低振動及び排出ガス対策型建設機械を可能な限り使用させた。 ・工事件数 8件 ・工事完成延長 1045m			市政アンケート 実施無し 達成率:市政アンケート実施無し	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	特になし				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	当初予定していた道路整備工事が概ね予定どおりに工事を進められたことや、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用したことから、概ね計画どおりの環境配慮を実施できたと判断します。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。道路整備工事が予定どおりに進められただけでなく、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことが高く評価できます。渋滞の解消による排出ガス減少及び住環境向上が図られており、目標年度に向けた達成率の更なる向上を期待します。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	3 — 1 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数			292日 (H30/2018)	292日 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します			
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
美化推進員による公共的な場所(歩道など)の清掃活動および巡回、注意啓発			293日 達成率：100%	2,480 千円	
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
喫煙所外で喫煙する方や、電子タバコ専用喫煙所でルールを守らない方を指導することが多かった。喫煙所内にポスターを掲示する等、利用者のマナーを徹底させるような対策を検討していきたい。					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全 ・景観の向上			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・ポイ捨て等に関する苦情			・巡回時の周知啓発の徹底		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	予定通りの日程で巡回を行った。 市民からの通報を受けての張り込みなどの指導方法を継続し、指導件数を維持した。 令和4年度合計：156件			293日	達成率：100%
令和5年度	予定通りの日程で巡回を行った。 市民からの通報を受けての張り込みなどの指導方法を継続した。 令和5年度合計：105件			293日	達成率：100%
令和6年度	予定通りの日程で巡回を行った。 市民からの通報を受けての張り込みなどの指導方法を継続した。 令和6年度合計：155件 路上喫煙禁止地区を啓発するため、横断幕の設置、デジタルサイネージでの啓発を行った。			293日	達成率：100%
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	デジタルサイネージや横断幕での新たな啓発を行った。				
課題等	喫煙所外で喫煙や加熱式たばこ限定の喫煙所での紙巻きたばこの喫煙に関する通報が寄せられており、細かく指導を実施する必要があります。				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	指導件数について、海老名駅の喫煙所を重点的に巡回したため、指導件数が増えている。計画通り巡回を行い、美化清掃も行っているため、計画通りの環境配慮を実施できたものとする。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。 例年同様の巡回及び美化活動の計画的な実施や、デジタルサイネージ・横断幕での新たな啓発活動の実施についても高く評価できます。より効果的な啓発活動の導入と利用者の意識改善により、巡回の必要性が低下することを期待します。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	3 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
えびなクリーン作戦参加者累計数			4,800人 (R1/2019)	5,000人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します			
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
年に一度、一斉美化活動を主催する			4995人	— 千円	
			進捗率： 99 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の保全 まちの美化意識の向上 			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> 実施方法に関する相談・要望 			<ul style="list-style-type: none"> 綿密な事前調整 		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	有馬小学校区で開催(195人参加)			4,995人	
				達成率：99.9%	
令和5年度	実施なし			実施なし	
				達成率：0%	
令和6年度	海老名市きれいなまちづくり事業や美化デー等の地域美化活動が定着してきていることから、実施なし。			実施なし	
				達成率： %	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	開催方法及び別の美化活動や啓発の検討				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	市が主催した一斉美化活動は、開催していなため一部計画通りの環境配慮を実施できなかったものとする。しかし、海老名市きれいなまちづくり事業や美化デー等の地域美化活動が定着してきている。			
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	市が主催した一斉美化活動は開催していないものの、海老名市きれいなまちづくり事業や美化デー等の地域美化活動が定着してきていることから、担当部課評価を支持します。今後も目標年度に向けた達成率の更なる向上を期待します。			

【令和7年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和6年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和6年度実績
これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば済み続けたいと回答した人の割合） (90.0%（令和11年度）)	アンケート実施なし
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○市の喫煙所からはみ出での喫煙者が増加したことから、指導を強化。特定の時間帯における張り込みや、横断幕、看板設置の対応により指導効果を高めるよう努めた。</p> <p>○路上喫煙に関する苦情や情報提供が寄せられる機会が多く、得られた情報から、喫煙所だけでなく、巡回ルートの中で張り込みも行った。</p>	

【令和7年度評価】外部評価シート（令和6年度分）

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		2 農業地を守ります	
目標指標		令和6年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
農地面積		475ha	
526ha (平成30年度)	526ha (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
農作業受委託面積	3	3	農業従事者の高齢化等により、営農組合への委託が増えたため。
市民農園利用者数	3	3	管理委託事業者との連絡を密にし、苦情に対する迅速な対応を心掛けたことにより、利用者の利用環境の向上を図ることができた。
農業体験イベント参加者数	3	3	今年は、ラッカセイの掘り取りも開催することができ、毎回多くの市民に体験していただいた。また、令和7年度はさらに開催回数を増やす見込みである。例年1000人以上の来場があった梨のもぎ取りが、農家の都合により開催できなくなったことを考慮し、参加者数としては計画どおりと判断する。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>農地面積の維持を目標としながら実績は減少を続けていますが、要因の洗い出しをしており、活動としてはおおむね計画通り進められていることから、評価「3」とします。</p> <p>一方、“えびならしさ”を守るために農地を守ることはとても大切ですが、各施策で大きな成果を出しているながらも目標とする農地面積は減少を続けています。これは従事者の高齢化への対策だけでなく、新規就農者をいかに増やしていける施策が打てるかも重要だと考えます。しかしこの問題は当市だけの問題ではありませんが、解決策もおそらく市単独で実行していくことが困難と予想されます。それでも、可能であれば、一部署でなく市全体の取り組みとして、長期視点に立った施策の検討を進められると良いと思います。</p>			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	3 — 2 — a
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
農作業受委託面積			32ha (H30/2018)	32ha (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-2 農業地を守ります			
	関連する目標指標	農地面積			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への達成見込		予算額	
市内営農組合による水稲作における稲刈りや籾摺り等の受託作業		30ha		9,315 千円	
		達成率： 93.7 %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
海老名市農業拠点施設（南部ライスセンター）内の農業用機械の破損等が見受けられ、毎年一定の費用を要している。					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響		有害影響			
・ 農地の荒廃の抑制		・ 作業に伴う廃棄物の排出 ・ 車両の使用による排気ガスの排出			
想定されるコミュニケーション		コミュニケーションへの対応			
・ 農作業受委託に関する相談		・ 円滑な農作業受委託に向けた指導			
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	農地が荒廃することを抑制するために中部営農組合、南部営農組合が稲刈り、乾燥籾摺り等の水稲作農作業を受託した。			35.87ha	
				達成率： 112 %	
令和5年度	農地が荒廃することを抑制するために中部営農組合、南部営農組合が稲刈り、乾燥籾摺り等の水稲作農作業を受託した。			29.93ha	
				達成率： 93 %	
令和6年度	農地が荒廃することを抑制するために中部営農組合、南部営農組合が稲刈り、乾燥籾摺り等の水稲作農作業を受託した。			62.41ha	
				達成率： 195 %	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	南部農業拠点施設に設置されている農業用機械は、施設開設から10年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、計画的な機械の更新が必要と考えている。 また、今後、営農組合農作業従事者の高齢化により、担い手不足が懸念される。				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	農業従事者の高齢化等により、営農組合への委託が増えたため。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。目標値を大幅に達成しているため、取り組みを継続するとともに、課題解決への対応を検討していただきたい。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	3 — 2 — b
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
市民農園利用者数			479人 (R1/2019)	580人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-2 農業地を守ります			
	関連する目標指標	農地面積			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
地権者から借りた畑又は市所有の畑を市内在住者に廉価で貸し出す。			526	4,855 千円	
			達成率: 90.7 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
委託している管理業務のうち除草作業について、夏季に利用者から共有部分の雑草繁茂の苦情が数件発生した。					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・遊休農地、耕作放棄地の減少			・市民農園整備にかかる廃棄物の増加		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・市民農園利用者のマナー違反による苦情			・迅速な現場対応		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行った。また、利用者の増加を図るため、ホームページの空き状況の更新頻度を継続して行った。県道整備に伴う用地買収により面積が減少する農園について、区画の配置を工夫するなど区画変更を行い、区画数の減少を最小限に抑えた。			518人	
				達成率: 89.3%	
年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行った。また、利用者の増加を図るため、ホームページの空き状況の更新頻度を継続して行った。来年度の利用にあたり利用説明会を集合開催し、雑草繁茂・区画外利用の禁止等細かに説明を行った。			516人	
				達成率: 88.9%	
年度	前年度に引き続き利用説明会を集合開催し、雑草繁茂・区画外利用の禁止等細かに説明を行ったこともあり、マナー違反による苦情連絡が半減した。また、管理委託業務の仕様書の一部変更したことにより、更地化未対応区画の作業を委託業者が行うことにより、長期間未更地となる区画が減少し、農園全体の風紀向上につながった。市の巡回時で把握した雑草繁茂の箇所について市から管理委託業者へ情報共有するよう心掛けた。			520人	
				達成率: 89.6%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	更地化作業を行わない利用者に対し、再発防止となるような対応を検討する必要があると考えている。				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	管理委託事業者との連絡を密にし、苦情に対する迅速な対応を心掛けたことにより、利用者の利用環境の向上を図ることができた。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。令和5年度から実施した説明会等の取組により、苦情数半減の実績は高く評価できます。今後も継続した迅速な対応で農園全体の風紀向上と共に目標達成を目指していただきたい。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	3 — 2 — c
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	地産地消推進係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
農業体験イベント参加者数			2,700人 (R1/2019)	3,000人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-2 農業地を守ります			
	関連する目標指標	農地面積			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
トマトのもぎ取り及びサツマイモ等の掘り取りを実施します。			2,000人 達成率：67%	431 千円	
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
雨天等でイベントが延期になり、次の開催日だと予定が入っている市民が多く、開催時の参加者が少ない場合がある。					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> 農業に対する理解の促進 地域の農業従事者・農作物に対する理解の促進 			-		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> イベント実施に関する問い合わせ 			<ul style="list-style-type: none"> 丁寧なイベント内容の周知 		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> トマトのもぎ取り 令和4年5月22日(日) 8:55~11:00 大谷地区 1,000人参加 ラッカセイの掘り取り 令和4年9月25日(日) 9:00~12:00 中新田地区 300人参加 			1,300人 達成率：43.3%	
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> トマトのもぎ取り 令和5年5月21日(日) 8:55~11:00 大谷地区 700人参加 ジャガイモの掘り取り 令和5年6月4日(日) 9:00~12:00 大谷地区 300人参加 サツマイモの掘り取り 令和5年10月22日(日) 9:00~12:00 大谷地区 500人参加 			1,500人 達成率：50%	
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> トマトのもぎ取り 令和6年5月19日(日) 9:00~11:00 大谷地区 500人参加 ジャガイモの掘り取り 令和6年6月9日(日) 9:00~11:00 大谷地区 200人参加 ラッカセイの掘り取り 令和6年9月15日(日) 9:00~10:45 中新田地区 200人参加 サツマイモの掘り取り 令和6年10月6日(日) 9:00~11:30 大谷地区 300人参加 			1,200人 達成率：40%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	天候や作物の生育不良によりイベントを開催することができない。				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	今年、ラッカセイの掘り取りも開催することができ、毎回多くの市民に体験していただいた。また、令和7年度はさらに開催回数を増やす見込みである。例年1000人以上の来場があった梨のもぎ取りが、農家の都合により開催できなくなったことを考慮し、参加者数としては計画どおりと判断する。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。昨年度に比べ参加者数は減少しているものの、開催日を増やし取組の強化を図っている。天候に左右される事業であるため、その点を考慮した改善策を検討できるとよい。			

【令和7年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和6年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和6年度実績
農地面積 (526ha(令和11年度))	475ha
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量的に)、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価(海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価)における参考資料とします。</p>	
<p>①有害鳥獣捕獲等業務委託事業 有害鳥獣による生活環境及び農業被害を防ぎ、市民生活の安定を図る為、アライグマとハクビシンを対象に捕獲及び駆除する業務を委託事業として実施している。 今後も捕獲及び駆除の必要性は続くものと思われ、継続して取り組んでいきたい。 依頼件数・・・45件 駆除頭数・・・60頭</p> <p>②農機具貸し出し事業 農業従事者の農業用機械取得の負担軽減を図る目的で、市で所有している農業用機械(トラクタ、田植機、水稲コンバイン、汎用コンバイン)の貸出しを有料で行っている。今後も事業を継続していきたい。 利用農業者・・・延べ52名 利用日数・・・延べ52日</p> <p>③用排水路等維持管理委託事業 農業用水通水前をはじめ、市内の農業用排水路の浚渫及び草刈等の維持管理を各地区の生産組合に委託し行っている。 委託期間・・・4月1日～2月28日 委託金額・・・18生産組合計5,095,000円</p> <p>④海老名市農業振興対策事業 農畜産業の経営の安定と発展を図るため、その事業を行うものに対し、予算の範囲内で補助金を交付している。その中でも農用地営農事業及び農用地利用集積事業については、農用地内において営農を行う農業者等に対して、申請に基づき補助金を交付しています。 令和6年度実績 交付決定件数・・・365件 補助金額・・・15,879,300円</p>	

【令和7年度評価】外部評価シート（令和6年度分）

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしき”を守り、育み、将来に引き継ぎます		3 地域資源を守ります	
目標指標		令和6年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合）		アンケートの実施なし	
74.9% (平成30年度)	75.0% (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	3	3	昨年度と同様に温故館、歴史資料収蔵館の来館者数は多くの方に来館していただいたため。今後も多くの方に来ていただけるように取り組んでいきたい。
歴史関連イベント・講座参加者数	3	3	当初計画していた講演会を実施せず、発掘調査見学会を開催した。今後も多くの方にイベントに参加していただき、海老名の歴史や文化財に興味を持ってもらえるように取り組んでいきたい。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>文化財ガイド及び夏休み体験講座を開催し、滑石でまが玉を作成することで昨年度よりも本物に近い形での体験内容になるよう、イベントに工夫を凝らしています。その結果、参加者も447人と昨年度より大幅に増加しています。</p> <p>また、講演会は開催はなかったものの、発掘調査見学会の開催に注力し成果を上げています。</p> <p>以上のことから、内部評価結果を支持し、評価「3」とします。</p>			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	3 — 3 — a
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数			11,176人 (H30/2018)	11,500人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-3 地域資源を守ります			
	関連する目標指標	自然景観への満足度(環境アンケート:相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
温故館では企画展等を開催する。歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料を増やし、公開する。			15,100名	20,764 千円	
			達成率: 131.3%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・市の歴史に関する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・施設運営に関する問い合わせ・苦情			・適切な施設運営の実施		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	温故館では、収蔵品展「中世びとの祈りの形」や市登録有形文化財として初となる高札の特別公開などを開催した。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理、公開に努め、歴史資料収蔵館収蔵品目録第2集を刊行した。			9,376人	
				達成率: 82%	
令和5年度	温故館では企画展「えびな近代鉄道物語」をはじめ、資料展「震災の記憶 ～関東大震災から100年～」、企画展「海老名に伝わる銅鐘 ～国分寺銅鐘重要文化財指定100周年記念～」を開催した。 歴史資料収蔵館では歴史資料の整理を行い、ミニ収蔵品展「大正から昭和初期の双六」を開催した。			14,434人	
				達成率: 145%	
令和6年度	温故館では企画展「発掘された海老名のお宝 ～この10年の発掘調査成果から～」を開催した。ミニ展示「龍峰寺千手観音像のみみつ ～国指定100周年記念～」については令和7年5月11日まで開催している。 歴史資料収蔵館では歴史資料の整理を行い、ミニ収蔵品展「江戸後期から明治期の双六」、「国芳・芳虎が描いた鎌倉武士-浮世絵・版本から-」を開催した。			13689人 (温故館: 13369人) (収蔵館: 320人)	
				達成率: 119%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	特になし				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	昨年度と同様に温故館、歴史資料収蔵館の来館者数は多くの方に来館していただいたため。 今後も多くの方に来ていただけるように取り組んでいきたい。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 毎年様々な展示を企画し、来館者に興味を持っていただく工夫をしていることが達成率に繋がっていると推察されます。継続的な取り組みについて評価します。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	3 — 3 — b
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)
歴史関連イベント・講座参加者数				319人 (H30/2018)	456人 (R11/2029)
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-3 地域資源を守ります			
	関連する目標指標	自然景観への満足度(環境アンケート:相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込		予算額
文化財講演会及び文化財ガイドを開催する。 夏休み体験講座を実施する。			322名		276 千円
			達成率: 70.6%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・市の歴史に関する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・イベント実施に関する問い合わせ			・丁寧なイベント内容の周知		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要					目標値達成実績
令和4年度	文化財講演会及び文化財ガイド、夏休み体験講座を人数を縮小してではあるが開催することができた。また、昨年度に引き続き奈良時代の国分寺を復元したVR体験会を実施した。				276人
					達成率: 61%
令和5年度	昨年度よりも文化財講演会及び文化財ガイド、夏休み体験講座の人数等を拡大し、開催することができた。また、海老名市文化会館にて海老名の郷土芸能祭を開催した。				286人 (講演会+ガイド+体験講座)
					達成率: 62.7%
令和6年度	文化財ガイド及び夏休み体験講座を開催し、滑石でまが玉を作成することで昨年度よりも本物に近い形での体験となったため、多くの参加者に満足していただいた。また、相模国分寺跡の隣接地で発掘調査見学会を開催した。				447人 (ガイド+体験講座+発掘調査見学会)
					達成率: 98%
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	講演会は開催なし、発掘調査見学会を開催した。				
課題等	特になし				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	当初計画していた講演会を実施せず、発掘調査見学会を開催した。今後も多くの方にイベントに参加していただき、海老名の歴史や文化財に興味を持ってもらえるように取り組んでいきたい。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。毎年様々な体験講座を開催し、受講者に興味を持っていただく工夫をしている事が達成率に繋がっていると推察されます。継続的な取り組みについて評価します。			

【令和7年度評価】目標指標関連事業取り組み状況シート（令和6年度分）

目標指標 （目標値（年度））	令和6年度実績
自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合） （75.0%（令和11年度））	アンケート実施なし
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取り組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○景観条例や住みよいまちづくり条例に基づいて、民間等による開発・建築行為における良質な景観の維持・保全を図りました。</p>	

【令和7年度評価】外部評価シート（令和6年度分）

基本方針		施策の方針	
4 みんなでえびなの環境を考え、行動します		1 環境を考え、行動します	
目標指標		令和6年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））	アンケート実施なし	
43.5% （平成30年度）	48.0% （令和11年度）		
環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）			
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
環境関連情報発信回数	3	3	今年度新たに、消防服をリメイクしてティディベアにする取り組みについて、「SDGs×消防ベア」として展示を行いました。新たな環境に関する展示により、市民の環境問題やSDGsに対する理解の促進に繋がりました。
啓発・出前講座参加者数	3	3	令和6年度は2校で実施することができたため、数値としては達成できていないが、おおむね計画通り実施できたものとする。
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	3	3	登録団体の減少がみられるものの、奨励金を使用せずに地域美化を行っている団体も確認している。概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。
海老名市地域緑化事業への登録団体数	3	3	前年度同様、市内活動団体が制度を利用し、緑化活動を実施することができた。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
展示の工夫が図られていることや、開発事業主へのアイドリングストップの看板設置の要望、件数としては少ないが、着実な出前講座の実施などから、「評価3」とします。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	4 — 1 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
環境関連情報発信回数			5回 (H30/2018)	8回	(R11/2029)
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度(環境アンケート:以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 光化学スモッグ及びアйдリングストップ等の環境関連情報を広報えびな等にて発信 環境啓発イベントを通じた環境情報の発信 			6回	— 千円	
			達成率: 75%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
コロナが終息し、環境啓発イベントを開催できる状況となったため、今後は情報発信回数を増加できるよう努める。					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> 環境問題に対する理解の促進 			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> 環境情報に関する問い合わせ 			<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な環境情報周知の徹底 		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
年度	<ul style="list-style-type: none"> 広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載しました。 「生きもの大調査」や「えびなSDGs環境マイレージ」に関する情報発信を行いました。 			7回	達成率: 87.5%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載しました。 「生きもの大調査」や「えびなSDGs環境マイレージ」に関する情報発信を行いました。 開発行為等で一定規模以上の駐車場を有する事業主に対し、駐車場敷地内で見やすい場所にアйдリングストップの表示看板の設置を要望し、光化学スモッグ発生の抑制に努めました。 			7回	達成率: 87.5%
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載しました。 「生きもの大調査」や「SDGs啓発事業」に関する情報発信を行いました。 開発行為等で一定規模以上の駐車場を有する事業主に対し、駐車場敷地内で見やすい場所にアйдリングストップの表示看板の設置を要望し、光化学スモッグ発生の抑制に努めました。 			7回	達成率: 87.5%
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	特になし				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	今年度新たに、消防服をリメイクしてテディベアにする取り組みについて、「SDGs×消防ベア」として展示を行いました。新たな環境に関する展示により、市民の環境問題やSDGsに対する理解の促進に繋がりました。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。令和5年度に引き続き、令和6年度も情報発信回数を維持できたことを評価します。今後も積極的な情報発信による、環境意識のさらなる醸成を期待します。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	4 — 1 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)
啓発・出前講座参加者数				645人 (H30/2018)	710人 (R11/2029)
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度(環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込		予算額
小学校や事業所、集合住宅へ赴き、ごみの分別方法等の出前講座を行う			160人		— 千円
			達成率：17.3%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
より分かりやすい講座内容の検討					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・環境問題に対する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・講座等実施に関する問い合わせ			・丁寧な講座等内容の周知		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要					目標値達成実績
令和4年度	開催なし				0
					達成率：0.0%
令和5年度	柏ヶ谷小学校、有鹿小学校で小学4年生に向けた出前講座を開催(160人参加)				160人
					達成率：17.3%
令和6年度	柏ヶ谷小学校、大谷小学校で小学4年生に向けた出前講座を開催(105人参加)				105人
					達成率：14.7%
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	より分かりやすい講座内容の検討				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	令和6年度は2校で実施することができたため、数値としては達成できていないが、おおむね計画通り実施できたものとする。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。昨年度から継続して、出前講座を2校で実施したことを評価します。限られた人員・予算の中で出前講座の規模を拡大していくことは容易ではないと思料しますが、講座の開催方法を工夫するなどし、目標値達成に向け、事業に取り組んでいただくことを期待します。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	4 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数			56団体 (H29/2017)	56団体 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度(環境アンケート:以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
不特定多数が使用する公共用地等の美化活動に奨励金を交付する			40	1200 千円	
			達成率: 71.4 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
登録団体の高齢化により、負担感が増加していること					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全 ・まちの美化意識の向上			-		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・実施方法に関する相談・要望			・綿密な事前調整		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	46団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。			46団体	
				達成率: 82.1%	
令和5年度	42団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。			42団体	
				達成率: 75%	
令和6年度	41団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。			41団体	
				達成率: 71.4%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	団体登録を継続しない団体が増えている点				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	登録団体の減少がみられるものの、奨励金を使用せずに地域美化を行っている団体も確認している。概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。登録団体は減少傾向ですが、地域美化活動は継続して行われていることを評価します。具体的な課題解決策(団体登録の要件緩和等)を検討するなど、持続可能な事業運営を期待します。			

令和7年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和6年度分)				事業コード	4 — 1 — d
担当部	まちづくり部	担当課	住宅公園課(住宅まちづくり課)	担当係	まちづくり支援係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
海老名市地域緑化事業への登録団体数			19団体 (R1/2019)	19団体 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度(環境アンケート:以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
令和6年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
市内における地域緑化の推進のため、地域の緑化事業を行う団体が実施する緑地等整備事業及び緑地等管理事業に要する経費に対して補助金の交付を実施			18団体	587 千円	
			進捗率: 94.7%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
特になし					
令和6年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・緑を保全・育成する意識の向上			-		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・緑化手法に関する問い合わせ			・適切な緑化手法の周知		
令和6年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和4年度	補助金交付実績 18件 508,000円			18/19団体	
				達成率: 94.7%	
令和5年度	補助金交付実績 18件 508,000円			18/19団体	
				達成率: 94.7%	
令和6年度	補助金交付実績 18件 508,000円			18/19団体	
				達成率: 94.7%	
令和6年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし				
課題等	令和7年度以降は新制度「みんなのまちづくり活動等支援制度」へ移行するため、更に新制度の周知を行うことが必要である。				
令和6年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	前年度同様、市内活動団体が制度を利用し、緑化活動を実施することができた。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。地域緑化事業補助制度の登録団体が高水準であることは高く評価できます。今後は、目標年度前の目標値達成を目指していただきたいと思います。			

【令和7年度評価】目標指標関連事業取り組み状況シート（令和6年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和6年度実績
環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合が高くなったと回答した人の割合） (48.0%（令和11年度））	アンケート実施なし
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取り組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○令和6年度は市内小学校から2件の出前講座の依頼があったため、開催。うち、1件は、新型コロナウイルスの感染拡大以降依頼のなかった、えびなっ子スクールでの依頼であった。</p> <p>○YouTubeについて、本編を短く編集したショート動画を作成し、啓発を行った。</p>	

【参考】

公共施設における再生可能エネルギー導入状況

施設名称	エネルギー区分	所管部署	所在地	摘要	年度	設置施設数	設置台数(基)	発電容量合計(kW)	設備概要	利用方法等
海老名市立えびな市民活動センター	太陽光発電	市民活動推進課	海老名市さつき町51-2	設置	2013	1	1	10.00	48枚 公称最大出力 208.4W(パネル1枚あたり) 合計約10KW	自家消費
海老名市立えびな市民活動センター	コージェネレーション	市民活動推進課	海老名市さつき町51-2	設置	2013	1	4	140.00	定格出力 35.0kW(1台あたり)合計約140.0KW コージェネレーションパッケージ	温水・電気供給
海老名市立えびな市民活動センター	地中熱利用	市民活動推進課	海老名市さつき町51-2	設置	2013	1	1	不明	地中熱利用熱源システム	自家消費
市営上河内住宅	太陽光発電	住宅まちづくり課	海老名市上河内240-2	設置	2015	1	1	5.50	240w太陽光発電設備	住宅共用部分への供給(余剰分は売電)
東柏ヶ谷近隣公園	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市東柏ヶ谷1-1766-3	設置	2010	1	2	0.09	ソーラー照明灯	公園灯
東柏ヶ谷近隣公園	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市東柏ヶ谷1-1766-3	設置	2012	1	10	0.09	ソーラー照明灯・案内板	公園灯・案内板
国分寺台第二児童公園	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市国分寺台2-5417-48	設置	2012	1	5	0.09	ソーラー照明灯	公園灯
海老名駅自由通路	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市めぐみ町507-1	設置	2015	1	1	10.00	太陽光パネル40枚	照明に利用(2:00~9:00)
海老名駅自由通路	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市めぐみ町507-1	増設	2018	0	0	10.00	太陽光パネル 36枚 リチウムイオン蓄電システム1基	エレベーターに利用(24時間)
海老名市立中央図書館	太陽光発電	学び支援課	海老名市めぐみ町7-1	設置	2015	1	1	5.00	太陽光発電パネル等設置	自家消費(照明等)
消防署北分署	太陽光発電	海老名市消防本部	海老名市上今泉6-13-17	設置	2009	1	1	10.64	・太陽電池モジュール56枚・太陽電池容量10.64kW・インバーター容量10kW 発電能力年間9600kWh	自家消費(庁舎電灯)
海老名市障害者第一デイサービスセンター	太陽光発電	障がい福祉課	海老名市社家681-1	設置	2013	1	1	10.00	太陽光発電設備	自家消費
海老名市障害者第二デイサービスセンター	太陽光発電	障がい福祉課	海老名市望地2-24-1	設置	2013	1	1	10.00	太陽光発電設備	自家消費
海老名市立門沢橋コミュニティセンター	太陽光発電	地域づくり課	海老名市門沢橋1-20-41	設置	2021	1	1	27.22	太陽光発電設備	施設の照明・空調用等電源
海老名市立東柏ヶ谷小学校	太陽光発電	教育総務課	海老名市東柏ヶ谷6-9-7	設置	2007	1	1	5.00	太陽光発電設備	学校施設の電力
北部公園体育館	太陽光発電	文化スポーツ課	海老名市上今泉6-14-1	設置	2001	1	1	11.65	太陽光発電施設モジュール75枚 蓄電器 144セル	自家消費
海老名市障害者支援センターあきば	太陽光発電	障がい福祉課	海老名市上今泉6-11-20	設置	2017	1	1	10.00	太陽光発電施設	自家消費